

電子の軌道角運動量演算子 (ベクトル) $\hat{\ell}$ とスピン角運動量演算子 (ベクトル) \hat{s} から合成される全角運動量演算子 (ベクトル) $\hat{j} = \hat{\ell} + \hat{s}$ を考える。

1. $\hat{\ell}^2$ の固有値を $\hbar^2 \ell(\ell + 1)$ 、 \hat{s}^2 の固有値を $\hbar^2 s(s + 1)$ と表し、 \hat{j}^2 の固有値を $\hbar^2 j(j + 1)$ と表すとき、特に、 $\ell = 1$ の場合、 j のとりうる値を記せ。
2. ベクトルの 2 乗は同じベクトルの内積であることを用いて、 $\hat{\ell} \cdot \hat{s}$ を j, ℓ, \hbar で表す式を求めよ。

(解答例)

1. 角運動量の合成則 (ベクトル模型) と角運動量の量子化 (離散性)、電子スピン $s = 1/2$ であることを考慮して、 $j = |\ell - 1/2|, \ell + 1/2$ である。ここで、 $\ell = 1$ を用いると、 $j = 1/2, 3/2$ となる。
2. $\hat{j} = \hat{\ell} + \hat{s}$ の両辺を 2 乗する (同じベクトルの内積をとる) と

$$\begin{aligned} \hat{j}^2 &= (\hat{\ell} + \hat{s}) \cdot (\hat{\ell} + \hat{s}) \\ \rightarrow \hat{j}^2 &= \hat{\ell}^2 + 2\hat{\ell} \cdot \hat{s} + \hat{s}^2. \end{aligned} \quad (1)$$

ここで、軌道角運動量演算子 $\hat{\ell}$ とスピン角運動量演算子 \hat{s} の順序は可換であることを用いた。式 (1) より、

$$\begin{aligned} \hat{\ell} \cdot \hat{s} &= \frac{1}{2} (\hat{j}^2 - \hat{\ell}^2 - \hat{s}^2) \\ &= \frac{\hbar^2}{2} \left[j(j + 1) - \ell(\ell + 1) - \frac{3}{4} \right] \end{aligned} \quad (2)$$

となる。